

○二十一日替り
◇期待の雄篇揃
帝キ現代劇部總出演
吉田豊作 里見明主演
未來の大臣
マキノ實川 岸雁才 河上君江
終 白龍躍る
高木新平 大林梅子 助演
帝キ新石緑道一人二役
歌川八重子 久野あかね
受難
帝キ獨得小唄映畫の雄
絶對他社の追従を許さず
波浮の港
藤間林太郎 主演
高津愛子
土曜學生生デ
マキノ 有聲座

新學期
通學服
黒小倉 一・二〇
紺上ヘル 四・五〇
上サージ 四・二〇
其他各種入荷
なにかや
洋服店
二丁目電二三〇

正確な体温計
寒暖計
電四〇番
蘭内藥局

美味評判
イロキ食堂
味の部電話四六〇番
平町細屋町(縣社通)

電球特賣
スター半消電珠一等品
瓦斯入半消電珠一等品
特價
三〇ワット 二〇ワット
四〇ワット 六〇ワット
一〇〇ワット
廿五錢
マツダランプモアリマス
平町三丁目(電話十九番)
大谷時計病院

町平
吉田眼科醫院
入院應需
上田外科醫院
平町南町
電話一二九番

外科
門科線
永久不變
美術引伸
寫眞專門
齋藤寫眞館
平町三丁目
(電話呼三五九番)
獨逸最新式高級機械設備

募集廣告
一、小 店 員 本年尋常及高等卒業者 三名
一、女中(有給) 十三才より十五才尋卒以上 壹名
一、家具見習徒弟 本年尋卒以上者 五名
右御希望者、至急面談せられたし
丸はん家具店
營業所 平町三丁目(電三五九番)
製作所 平町新田前(電七二三番)

寄 書
箱の皮(夫)
警視廳技師 荒木治義
◇患者と病名
「ロクマクちう病氣はごこ
が悪いだんべえ……」
「ごこを悪いのをロクマク
ちうかなア……」
「今の病氣の名前は昔と違
つて分んねえ名前ばかりだ
アない」
肋膜炎とは如何なる者か、
否彼等には疾病の位置さへ
も充分の會得することが出
來ないのだ——それで尙病
名を聞き度がる、病名を聞

◇廿一日ヨリ三大白眉篇◇
萬木香一、櫻井京子、賀川清、市川左廣次、岡崎
晴夫、小松みどり
悲戀 殘されし者 全七卷
捕物 婆の風 全八卷
本邦劇壇の珍品、日活提供、曾我廼家五九郎努力篇
天下の珍品 婆の風 全八卷
無類の珍畫 婆の風 全八卷
時に強く……時に弱く……時に温く……時に冷い……
娑婆の風に五年振りであつた半公の世渡り譚は
阪東妻三郎、一人三役主演
近藤勇、阪本龍馬、加組の虎松
新撰組 近藤 勇 全十卷
隊長 近藤 勇 全十卷
元治元年六月五日世情紛々たる京の街々夏の夜も未
だ更けやらぬに早死したる如く静まり返つてゐる
池田屋の表に旅人調べだッ表は開けるッ……アッ
普通 金 土曜學生生デ 平 館 電四
六六

移轉お知らせ
新築中の事務所落成しましたので此程
左記に移轉致しました
電話も變りまして(六一〇)番となりま
したから併せてお知らせ致します
昭和四年三月十八日
平町十五丁目四番地(舊郡役所脇)
辯護士 大 嶺 庫

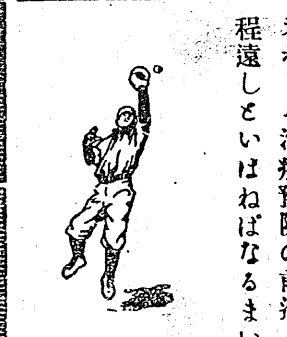
高久病院
院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
平町田町 電話五一三番

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目(電三)

「ケツマクリだ!……面白
い病氣があるなア、何處が
悪いだアか」
「矢張り眼の病氣だない……」
「眼が悪くてケツマクリ……
……オヤオヤ……」
思はず吹き出さずに居られ
なかつた、トラホーム、結
膿炎の病名は彼等に贅澤な
んだ、チメ、ヤミメ、ノボ
セメ、タダレメ、カズノコ
メの俗名で澤山なのだ、ト
ラホーム治療豫防の前途も
程遠しといはねばなるまい



常新新聞
日刊
發行編輯人 川崎文治
本社 同香地(電話六三〇番)
印刷所 常磐毎日印刷所
刊 夕日二十二月三
定價 一部金貳錢
一月金貳圓
三月金五圓
半年金十圓
一年金二十圓
廣告 五字十二行
一日五錢
一月五十錢
一月五圓
印刷所 常磐毎日印刷所
電話六三〇番



神谷地内の鐵道にて

列車の轉覆を企つ

急行列車が知らずに疾走 鐵橋用材を横へて

廿一日常磐線草野驛南方四百米の地點(石城郡神谷村大字中神谷地内)鐵道線路に木材を重ねてあつたのを平驛發午前三時四十分の下り旅客急行列車が氣付かず夫れを轢斷疾走し幸ひ事なきを得たが該木材は何者か

再び今朝も

鎌田鐵道に大木材

▽……平署躍起となる

然るに本日午前七時頃鎌田トネルの東方二百間を去る神谷村大字鎌田地内の鐵道線路約六町に亘り木材、石、標本等を横へ置き昨夜平驛發午後九時五十分旅客

ゴム草履の跡から

遂に犯人逮捕さる

ユウ／＼と寝て居た處を

今朝平署に引立らる

平署にては犯人捜査に就き一、精神異常者か
一、鐵道員を被首されて恨みを抱く者か
の二要點に依つて鯨岡警部補主任となり青田刑事部長森刑事其他八方に搜索の手を伸べた處防害現場にゴム草履の跡あつた爲め夫れに手懸りを得て足跡をたどり神谷村の者であるの確證を握り遂に本日午前十一時

犯人の身元

警中出身のドモリ

精神に異常

列車防害犯人金成紫郎は昭

和二年警城中學校を卒業し日本鐵道講習所に入り同年十月卒業後東神奈川驛電信課雇に就任したが同人は性來のドモリであつた爲め常に夫れを苦にやんでの餘り遂に精神に異常を來し昨年十一月辭職し自宅に歸つて

平第一と平商の

窓ガラス破壊も

矢張金成の處爲

昨年十一月平第一小學校及び平商業學校の窓ガラスを約十枚位宛滅茶々に破壊した犯人あり當時平署は極力犯人を捜査したが遂に就縛するに至らず今日に至つたが右の破壊行為も金成紫郎の處爲と判明した

馬の貧血病

豫防の通牒

石城郡産馬組合では數年來農家を悩ましてゐる馬の貧血病發生の時期に入つたので豫防法につき協議研究の結果、各町村組合をして常に馬の健康診断をなさしめ疑はしい點があつたらすぐ隔離手當する様に各關係組合に通牒した

鑛産税委讓

猛運動を起す

危険に瀕して

大小三十餘の炭礦を有する石城郡下三十六ヶ町村は目下貴族院で審議中の鑛産税地方委讓問題を注目してゐたが二十日福岡縣宇美町に

農作物被害

養蚕同業對策

石城郡方面は降雨なく飲料水にも不足してゐる仕末であるが一番この雨量不足に依つて被害を受けたのは農作物で麥作や紫雲英等は枯死續出の状態である殊に春蠶の掃立期を前にして桑葉の發育が極めて不良のため掃立もおくれ、蠶兒の飼育期になつて桑不足を告げるやうになるのではあるまいかと豫想され石城養蠶同業組合では對策の研究をなしつつある

誓女入學

尋六が最多

縣立警城高等女學校の入學試験は來る廿七八九の三日間に行はれる筈であるが志願者は四百卅六名を學年別に擧ぐれば左記の如く本年は高二からの志願が激減してゐる此の原因は入學難と財界不況から數回の受験を厭ふに至れるものと見られるが茨城縣水戸市から高等三年二名の志願は珍しいものであると

山田郵便取扱

來る四月一日から新設される郵便取扱所は左の通り

石城郡山田小湊大谷辰三郎方

音通が無い

南米へ出稼ぎに出て

妻から搜索願

石城郡下小川村大字柴原字茶ノ島九二吉田利長(四〇)の妻いちが去る大正三年七月燃ゆる様な希望を抱いて南米へ出稼ぎに渡航した夫利長の歸國を令かゝり十四年間も待つて居たが音信は勿論その生さへ不明なので遂にたまりかねてかして捜し出して下さいと廿日縣保安課に願ひ出た

模様も

さう悪どく

は案外寛大ださうだからこの生産業者の我儘には一言半句の抗議も提出せず容認して最新流行の型として逸早く街頭に郊外に持ち歩くであらうことは疑はぬ、勿論眞つ直なにぎりもあるがこれも今までのよりは長く

丸味を

帯て幾分優

型になつた。それと共に骨數も多くなつて十四本十六本中には二十本の骨を使つたのがある生地は上物でパレス、ジョウセツトの加工品が重で二枚張り全盛ごく安物でない一枚張りは見つからぬ

団体事務所

不足分負擔

既報町村長會石城支會は二十日午前十一時より平町元郡衙に開催二年度並びに四年度の決算認定後事が各種団体事務所移轉費として計上した二千圓では不足なので右不足分につき協議し各町村より寄附をつのり以て事務所を建設することを申合せて散會

今年今

春のパラソルがショウイドに飾られて佳人のやはらかい觸感を待つてゐる、あの薄色ながらはなやかな美しいパラソルを見せられては男でもこのましく感ぜられる。まして若さをたのみ美をほこる

女性達

にとつては

たまらないだらう。ところがそのパラソルが今年はいふ型が變つて來た、どうせ浮世ぢやもの太く短く暮らしたがるまじといふわけでもなかつたらうが彼女がこれまで、ひつさげたパラソ

一人に

對してだけ

の生産業者の我儘には一言半句の抗議も提出せず容認して最新流行の型として逸早く街頭に郊外に持ち歩くであらうことは疑はぬ、勿論眞つ直なにぎりもあるがこれも今までのよりは長く

模様も

さう悪どく

は案外寛大ださうだからこの生産業者の我儘には一言半句の抗議も提出せず容認して最新流行の型として逸早く街頭に郊外に持ち歩くであらうことは疑はぬ、勿論眞つ直なにぎりもあるがこれも今までのよりは長く

高價な

ものがある

一金三十圓から四十圓といふものがあるがまあ二十七八圓から十七、八圓乃至十圓位のはよい方、レーヨン(人絹)ならば三圓位から八圓位である

明日の天気

南西の風 好天氣